

新規称号取得者紹介コーナー

(令和3年9月1日～令和4年3月31日)

敬称略 本人から承諾を受けている方を掲載しています。

称号取得の方法や手続きに関するお問い合わせは、道民カレッジ事務局までお気軽にご連絡ください。



学長奨励賞

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 学長奨励賞 (14000単位) 榎本 聡子 (札幌市) | 学長奨励賞 (8000単位) 傳賢 博愛 (札幌市) |
| 学長奨励賞 (7000単位) 山崎 繁光 (室蘭市) | 学長奨励賞 (7000単位) 前川原利雄 (旭川市) |
| 学長奨励賞 (5000単位) 坂本 春恵 (音更町) | 学長奨励賞 (4000単位) 小島 純子 (札幌市) |
| 学長奨励賞 (4000単位) 柿倉桂三郎 (北見市) | 学長奨励賞 (3000単位) 山口幸治郎 (札幌市) |
| 学長奨励賞 (3000単位) 武佐 博 (江別市) | 学長奨励賞 (3000単位) 松井 絹子 (帯広市) |
| 学長奨励賞 (3000単位) 松井 英成 (帯広市) | 学長奨励賞 (1000単位) 門間 勝衛 (江別市) |
| 学長奨励賞 (1000単位) 岡村 猛 (江別市) | 学長奨励賞 (1000単位) 陰山 昭男 (札幌市) |

ほ：ほっかいどう学 地：地域活動 キ：キャリアアップ 環：環境・生活 健：健康・スポーツ 教：教養

博士 (300単位)

- 武佐 博 (江別市・地)
- 門間 勝衛 (江別市・健)
- 中川 誠 (江別市・ほ)
- 千葉 節子 (美幌町・ほ)
- 山口幸治郎 (札幌市・地)
- 松下 芳彰 (江別市・健)
- 小島 純子 (札幌市・キ、環、健、教)
- 成田 孝男 (江別市・環、教)
- 岡村 猛 (江別市・環、教)
- 藪崎 孝一 (札幌市・地)
- 及川 直樹 (音更町・キ)

修士 (200単位)

- 武佐 博 (江別市・地)
- 野口 鉄男 (函館市・ほ)
- 町中 豊 (札幌市・教)
- 伊藤 環 (江別市・ほ、環)
- 岡村 猛 (江別市・環、教)
- 門間 勝衛 (江別市・健)
- 松尾 誠之 (札幌市・教)
- 中川 良助 (苫小牧市・教)
- 千葉 節子 (美幌町・ほ)
- 鯨岡 克子 (旭川市・キ)
- 田中 昭 (札幌市・ほ)
- 笈川 浩一 (札幌市・ほ)
- 小島 純子 (札幌市・キ、環、健、教)
- 佐藤 房子 (苫小牧市・教)
- 矢嶋 裕之 (苫小牧市・教)
- 宮腰 佳苗 (札幌市・ほ)
- 大崎喜代志 (遠軽町・キ)
- 成田 孝男 (江別市・ほ)
- 岡村 猛 (江別市・ほ)
- 松下 要一 (根室市・環)
- 林 君雄 (札幌市・地)

学士 (100単位)

- 武佐 博 (江別市・地)
- 古屋 道義 (旭川市・ほ)
- 森 敏雄 (旭川市・教)
- 町中 豊 (札幌市・教)
- 伊藤 環 (江別市・環)
- 岡村 猛 (江別市・ほ、環)
- 門間 勝衛 (江別市・健)
- 吉本 尊人 (北見市・環)
- 鯨岡 克子 (旭川市・キ)
- 松下 芳彰 (江別市・ほ、環)
- 小島 純子 (札幌市・キ、環、健、教)
- 川瀬ひゆみ (幕別町・教)
- 松本 伸吾 (函館市・ほ、キ、健)
- 伊藤 敦子 (苫小牧市・ほ)
- 松下 要一 (根室市・環)

ジュニア

- 山田 隼大 (札幌市・博士)
- 大左古祥悟 (大樹町・博士)
- 大左古恵悟 (大樹町・博士)
- 福田歩乃花 (深川市・修士)
- 濱塚 大耀 (北広島市・修士)

称号取得者 (延べ人数)

学士 **1,060**人
修士 **797**人
博士 **653**人
学長奨励賞 **292**人

カレッジだより Vol.41 (令和4年5月発行)
編集・発行 道民カレッジ事務局
【(公財)北海道生涯学習協会】
☎060-0002
札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7 9階
TEL:(011)204-5780 FAX:(011)281-6664

College news 道民カレッジ 2022May. カレッジだより vol.41

令和4年度道民カレッジ事業見直し内容のお知らせ

1. 連携講座が廃止されました

これまでは道民カレッジの「連携講座」を受講することで単位が認定されていましたが、令和4年度からは連携講座の枠を越え、自主的に受講したすべての講座で単位が認定されることになりました。講座内容がわかるものの保管をお願いします。連携講座の廃止に伴いコースも廃止されました。

2. 手帳の電子化が始まります (希望者)

現在、手帳の電子化システムを構築中です。8月～9月頃に運用開始の予定です。システム開始までの期間は、お持ちの道民カレッジ手帳で単位を管理してください。受講した講座を手帳に記入し、時間数に応じて単位数も記入してください。講座のコースが廃止されたので、コースにこだわらず空いているページに記入してください。システムの運用が開始されたら、手帳の電子化を希望する方は道民カレッジ生ポータルサイトにご登録ください。詳しい内容が決まり次第、ホームページやSNS等でお知らせします。手帳の電子化を希望しない方は引き続き道民カレッジ手帳で単位を管理してください。

時期	単位認定される講座	単位認定作業	媒体
令和3年度まで	道民カレッジの主催講座・連携講座のみ	主催者	手帳
令和4年度から	システム開始前 (8～9月頃運用開始予定)	自主的に受講した講座すべて	自分 手帳
	システム開始後 (手帳を電子化する場合)	自主的に受講した講座すべて	事務局 オンライン
	システム開始後 (手帳を電子化しない場合)	自主的に受講した講座すべて	自分 手帳

よくある質問

Q「講座情報はどこで手に入りますか？」
A：連携講座は廃止されましたが、講座情報は引き続きお知らせしていきます。道民カレッジHPの「講座情報冊子」からダウンロードすることができます。まなびの広場にも配架しています。また、切手を負担していただければ郵送することもできますので、希望される方は予め切手を事務局まで送付してください。

講座情報冊子を
月に1回発行します！



Q 「講座の内容がわかるものがない場合はどうしたら良いですか？」

A 用意できる範囲で結構です。講座の要項やチラシなどを保管してください。受講証明になるものが何もない場合はやむを得ないので、受講証明は必要ありません。この場合も、手帳に日付・講座名・単位数をご自分で記入してください。

Q 「受講証明が必要だと知らず、何も保管していませんでした。単位は認定されますか？」

A 周知の期間が短く、ご迷惑をおかけしています。受講した講座は単位認定されますので、ご安心ください。受講証明を保管していない場合でも、受講した講座は道民カレッジ手帳に日付と講座名、単位数を記入してください。

Q 「受講証明はいつ提出すればよいですか？」

A 手帳で単位を管理する場合・システム開始前
事務局から提出の要請があった時にご提出ください。手帳の表記に不備がある場合等に、ご提出をお願いすることがあります。

A システム開始後・手帳を電子化する場合
受講（履修）した講座を電子申請する際に、受講証明となるような要項やチラシを添付して申請してください。ただし、受講の証明になるようなものがない場合は、特に添付の必要はありません。

Q 「受講証明はいつまで保管すれば良いですか？」

A 手帳で単位を管理する場合・システム開始前
受講した年度中（4月から3月）は保管をお願いします。3月末を保管期限とします。

A システム開始後・手帳を電子化する場合
手帳を電子化しシステム上で単位を管理する場合は、受講証明を提出した後に受講証明を保管しておく必要はありません。

Q 「1時間半の講座の単位認定数はいくつですか？」

A 原則1時間1単位を認定します。端数は切り捨てになるので、1時間半の講座の場合、1単位を認定します。ただし、その講座が連続講座の場合など講座が複数回の場合は、総時間数を算出し、単位認定することができます。例えば1回あたり1時間半の連続講座を5回受講する場合、 $1.5 \times 5 = 7.5$ になるので、7単位が認定されますので、手帳の単位欄に7と記入してください。

Q 「放送大学の単位互換はできますか？」

A 放送大学の単位を道民カレッジの単位に互換することができます。放送大学の1単位は道民カレッジの15単位、放送大学の2単位は道民カレッジの30単位に互換してください。

Q 「称号の単位内訳がよくわかりません。」

A 取得単位数の合計が100単位あれば称号を申請することができます。必修単位やコース別の単位内訳は必要ありません。また、取得を目指していたコースの称号がある場合、経過措置として希望するコースの称号を認定します。その場合でもコース別の単位内訳は必要ありませんので、合計100単位取得していれば、希望するコースの称号を取得することができます。

たくさんのご質問・ご意見をいただいています。見直し内容の周知の期間が短く、大変ご迷惑をおかけしています。今後も不明な点がありましたら、お気軽にお問合せください。

よろしくお願ひします



まなびの広場自主事業(年間計画)

今年度まなびの広場でセミナーや展示などを計画しています。開催期日が近くなりましたら、ホームページやちらし・SNSなどでお知らせします。すべて定員は先着30名です。お電話またはメールでお申込みください。

回	実施	講師・団体(予定)	講座内容
第1回	6月29日 13:30~ 15:00	北海道立総合研究機構工ネルギー・環境・地質研究所	海洋汚染などで問題になっているマイクロプラスチックがもたらす自然環境や人体に与える影響についての講義
第2回	7月	家庭健康管理研究会	沈黙の臓器といわれる腎臓。腎臓の果たす役割や腎臓を健康に保つための食生活などについての講座
第3回	7月	道民カレッジ職員	文字の打ち方や通話・テレビ電話・写真の送信など、ラインの機能を使う技の解説セミナー
第4回	8月	未定	頭と体の健康づくりに向けて、脳の活性化バージョンと身体を動かすバージョンの健康体操セミナー
第5回	8月	北海道埋蔵文化財センター	古代から北海道で営まれてきた独特な文化や暮らしを伝える石器や土器の展示
第6回	9月	日本茶インストラクター協会 北海道支部	日本の伝統的な飲み物である日本茶のおいしい入れ方や健康づくりに果たす役割などを実技を交えて解説
第7回	9月	めだかの学校	名作といわれる作品を鑑賞し、視聴後の感想発表を交流する映画鑑賞会
第8回	10月	(独)北海道文化財保護協会	「船で語る北方の歴史~千島・樺太・堪察加・北海道~」北海道の発展に大きな役割を果たした船舶の写真展
第9回	10月	家庭健康管理研究会	血管年齢を若返らせ、体の不調や老化の進行を防ぐ、食生活の改善方法などについてのセミナー
第10回	11月	国立大雪青少年交流の家・日高青少年交流の家	大雪・日高両施設の取組と利用者の活動の様子を紹介するパネルや登山などに使う用具の展示
第11回	12月	(独)北海道文化財保護協会	北海道新幹線の延伸により廃線される在来線。その鉄路で活躍した蒸気機関車C62やニセコエクスプレスのパネル展
第12回	1月	北海道特別支援教育センター	道内の特別支援学校の幼児児童生徒が授業で制作した作品等150点程度を展示